



世界のすきまに新たな世界を

2017年3月期 決算補足説明資料

2017年4月28日



四国化成工業株式会社

証券コード:4099

目次

会社プロフィール	… 3	キャッシュ・フロー概要(連結)	… 11
決算のポイント	… 4	設備投資額、減価償却費、研究開発費(連結)	… 12
損益構造推移(連結・通期)	… 5	業績予想(連結)	… 13
海外地域別売上高推移	… 6	セグメント別 売上高・利益	… 14～16
損益構造推移(連結・四半期)	… 7	化学品事業セグメント	… 17～18
損益計算書(連結・四半期)	… 8	建材事業セグメント	… 19～20
資産(連結)	… 9	[参考]製品概要	… 21～26
負債・純資産(連結)	… 10	[参考]中期経営計画2019	… 27～30

会社プロフィール

▼会社概要

- 商号 四国化成工業株式会社
SHIKOKU CHEMICALS CORPORATION
- 設立 1947年(昭和22年)10月10日
香川県丸亀市において、二硫化炭素の製造を目的に設立
〔化学品〕無機化成品、有機化成品、ファイン ケミカル
〔建 材〕内・外・舗装材、住宅エクステリア、景観エクステリア
- 主な事業
- 研究、生産拠点 1研究所、6工場
- 事業所 〔日本〕2支社、10営業所 〔海外〕米国、中国(上海・深圳)、台湾、シンガポール
- 資本金 68億6,770万円
- 従業員数 連結 1,074人 単体 599人 (17年3月末)

▼株式

- 発行済株式総数 58百万株
- 株主総数 3,770名 (17年3月末)

▼関係会社

連結子会社〔日本：9社、海外：1社〕
SHIKOKU INTERNATIONAL CORPORATION
日本硫炭工業(株)
シコク環境ビジネス(株)
シコク分析センター(株)
シコク興産(株)

シコク景材(株)
シコク景材関東(株)
シコク・システム工房(株)
シコク・フーズ商事(株)
シコク・フーズ保険サービス(株)

非連結子会社 1社
四国化成(上海)貿易有限公司

決算のポイント

■ 連結経営成績

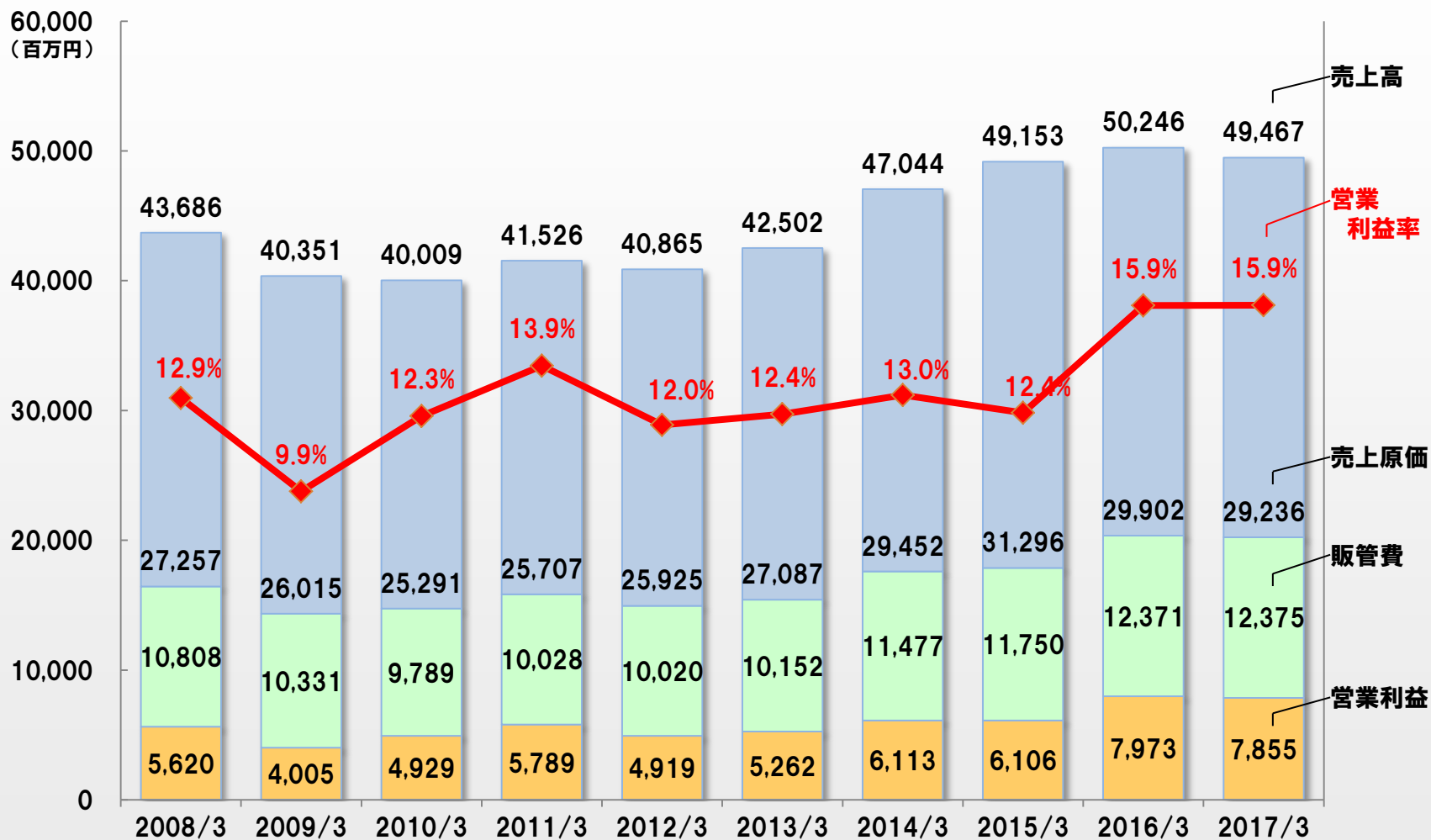
(百万円)

	2016/3		2017/3		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	50,246	100.0%	49,467	100.0%	▲ 779	▲ 1.6%
営業利益	7,973	15.9%	7,855	15.9%	▲ 117	▲ 1.5%
経常利益	8,197	16.3%	8,294	16.8%	97	1.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,854	9.7%	5,837	11.8%	982	20.2%
為替レート(円/US\$)	121		108			
為替レート(円/EUR)	133		120			

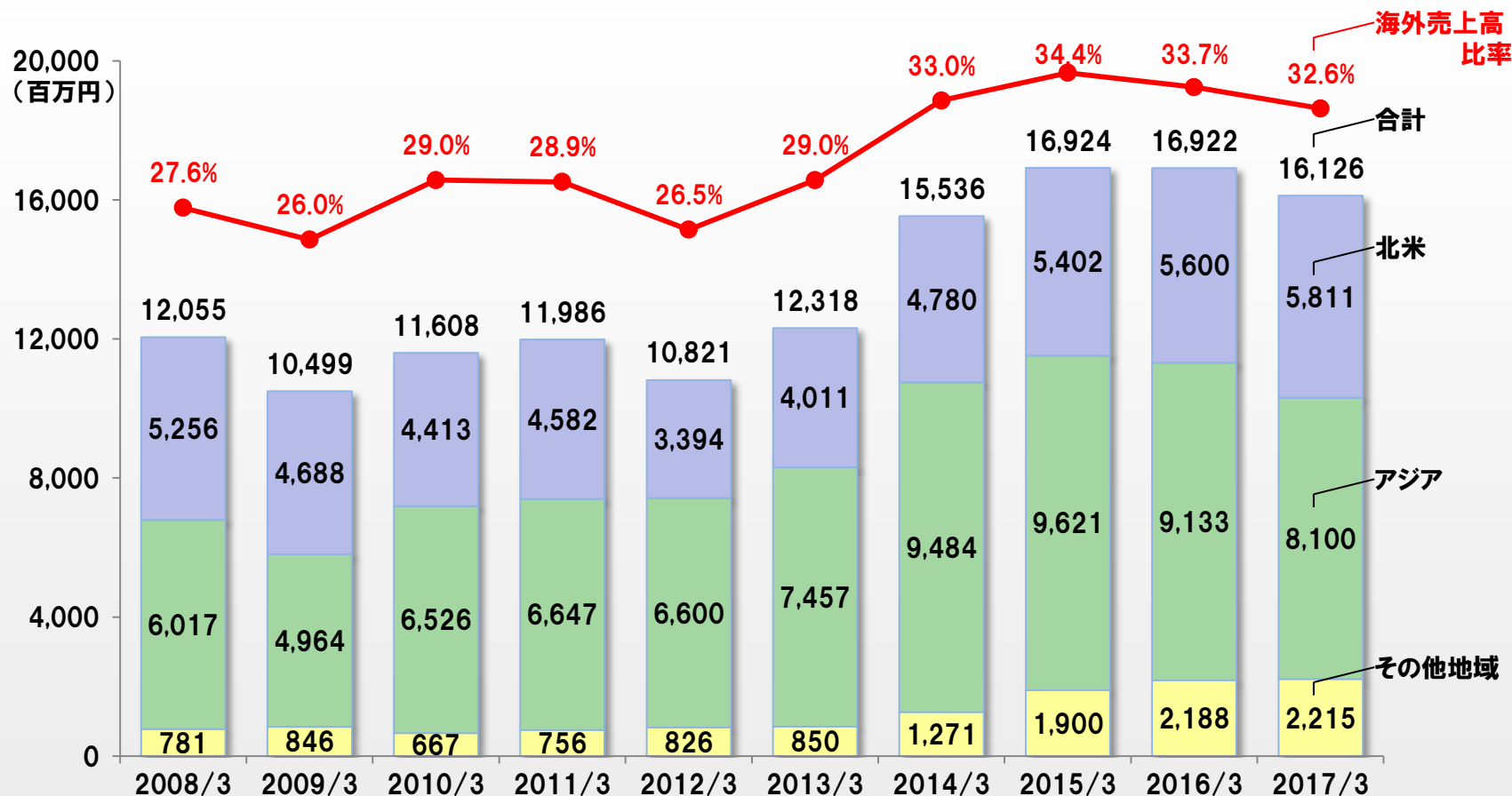
◆ 経常利益、純利益で過去最高を更新

- ・ 化学品、建材事業ともに販売は前年を下回り、売上高は前期比1.6%の減収。
- ・ 建材では収益性が改善したが、化学品では円高の影響を受けたことから、営業利益は1.5%の減益。
- ・ 営業外損益は、受取配当金の増加や為替差損の減少等により、経常利益は1.2%の増益。
- ・ 特別損益では、前期計上した減損損失等の特殊要因が無くなり、当期純利益は前期比20.2%増益。

損益構造推移 (連結・通期)

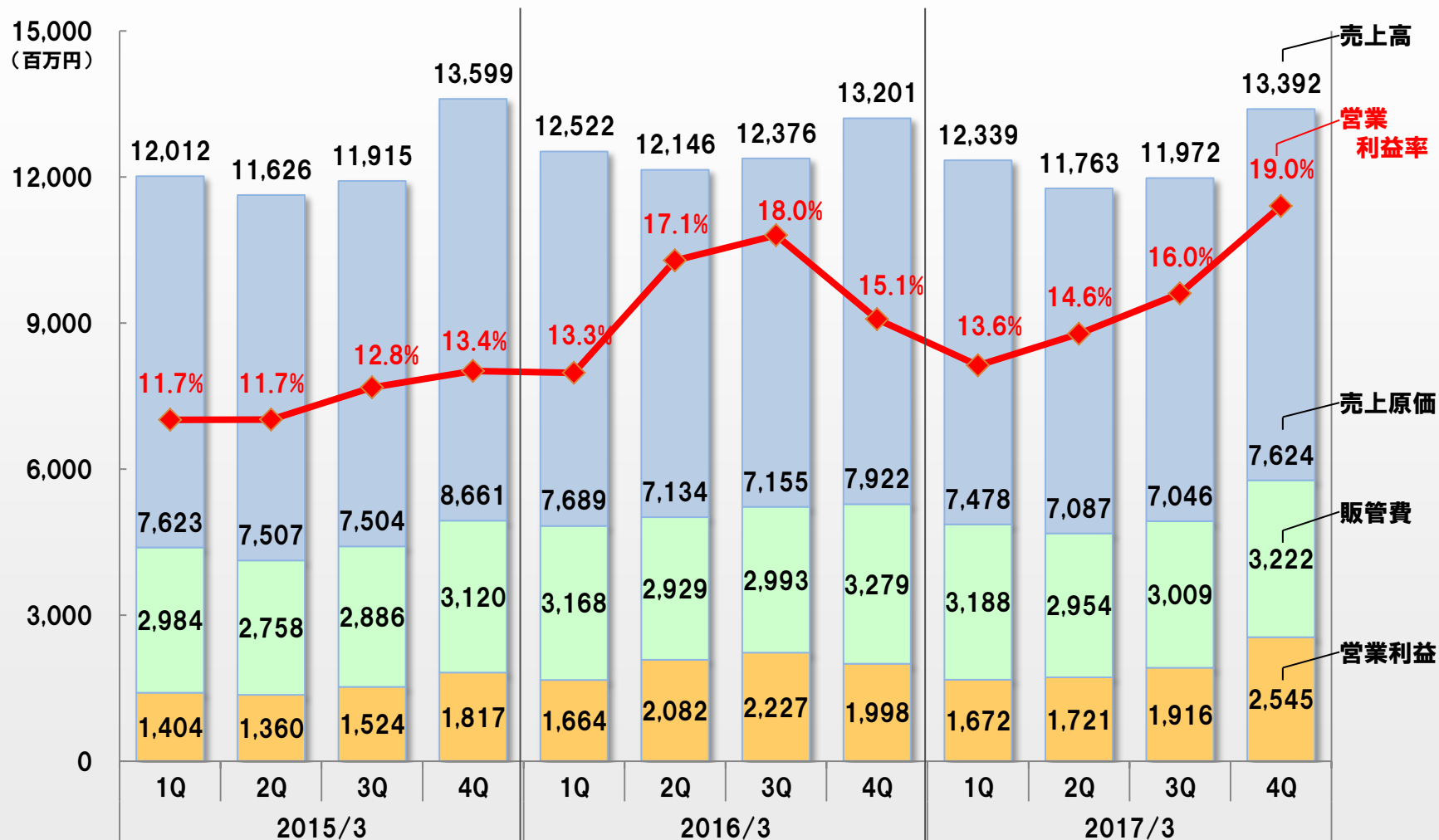


海外地域別売上高推移



為替レート(円/US\$)	111	101	93	86	79	82	100	109	121	108
為替レート(円/EUR)	161	148	132	114	110	106	132	139	133	120

損益構造推移 (連結・四半期)

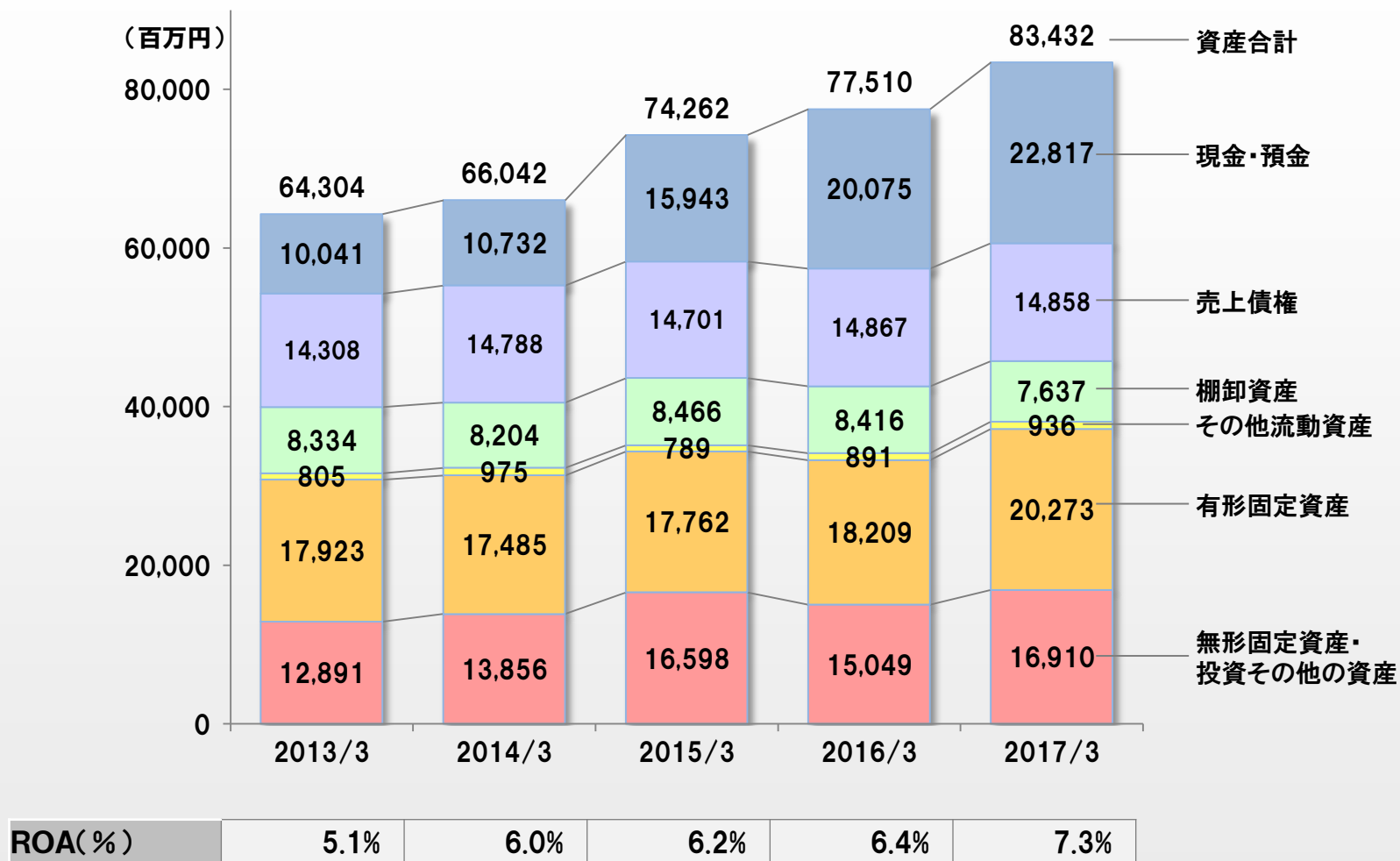


損益計算書 (連結・四半期)

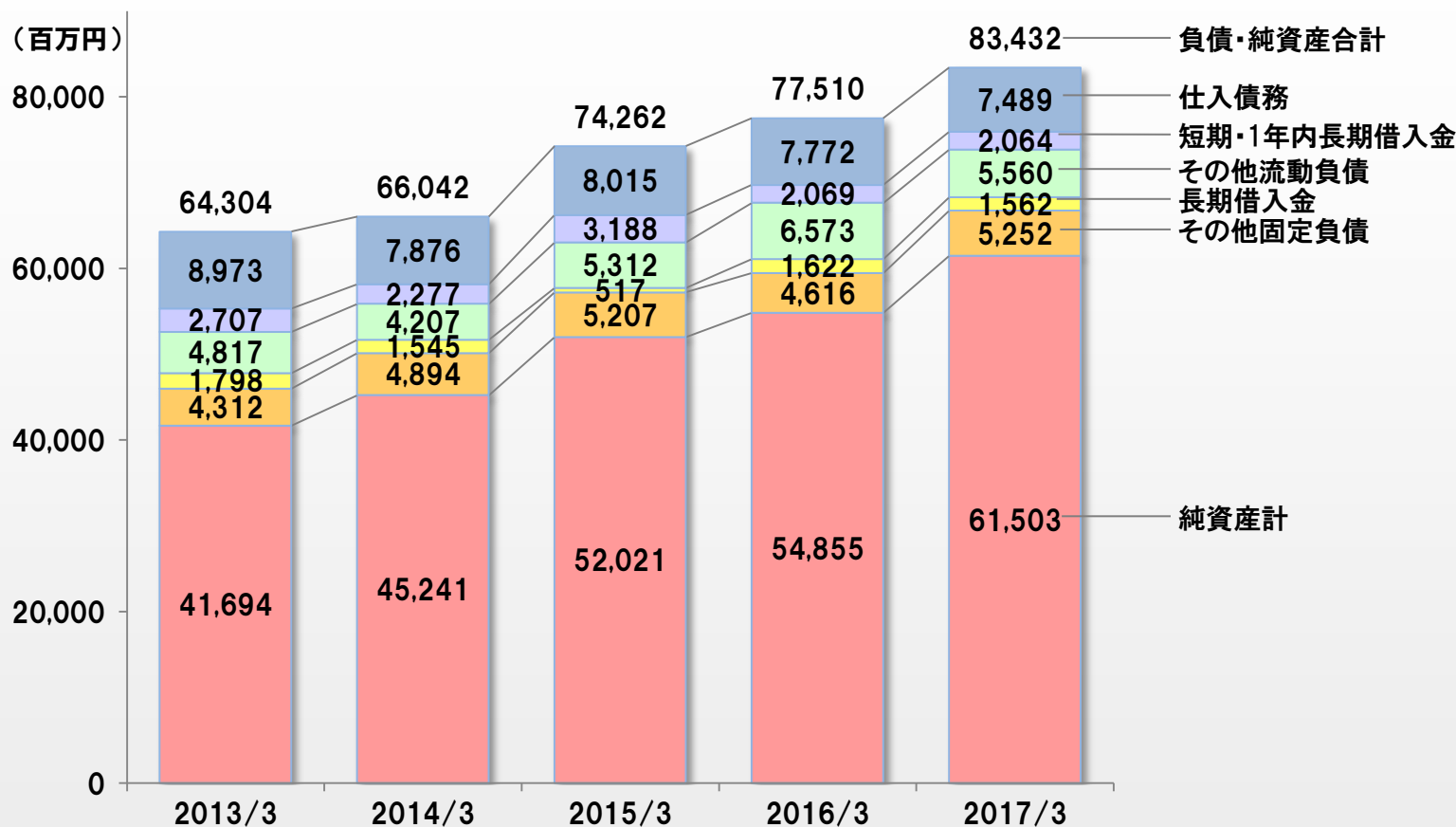
(百万円)

	1Q実績		2Q実績		3Q実績		4Q実績		2017年3月期 通期実績	
		前年同期比 増減 (率)		前年同期比 増減 (率)		前年同期比 増減 (率)		前年同期比 増減 (率)		前年比増減 (率)
売上高	12,339	▲ 183 (▲1.5%)	11,763	▲ 382 (▲3.2%)	11,972	▲ 404 (▲3.3%)	13,392	191 (+1.4%)	49,467	▲ 779 (▲1.6%)
営業利益	1,672	7 (+0.5%)	1,721	▲ 360 (▲17.3%)	1,916	▲ 311 (▲14.0%)	2,545	546 (+27.3%)	7,855	▲ 117 (▲1.5%)
経常利益	1,894	▲ 83 (▲4.2%)	1,690	▲ 297 (▲14.9%)	2,355	▲ 16 (▲0.7%)	2,354	494 (+26.6%)	8,294	97 (+1.2%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,240	▲ 10 (▲0.8%)	1,171	▲ 152 (▲11.5%)	1,636	71 (+4.6%)	1,789	1,073 (+150.0%)	5,837	982 (+20.2%)

資産（連結）



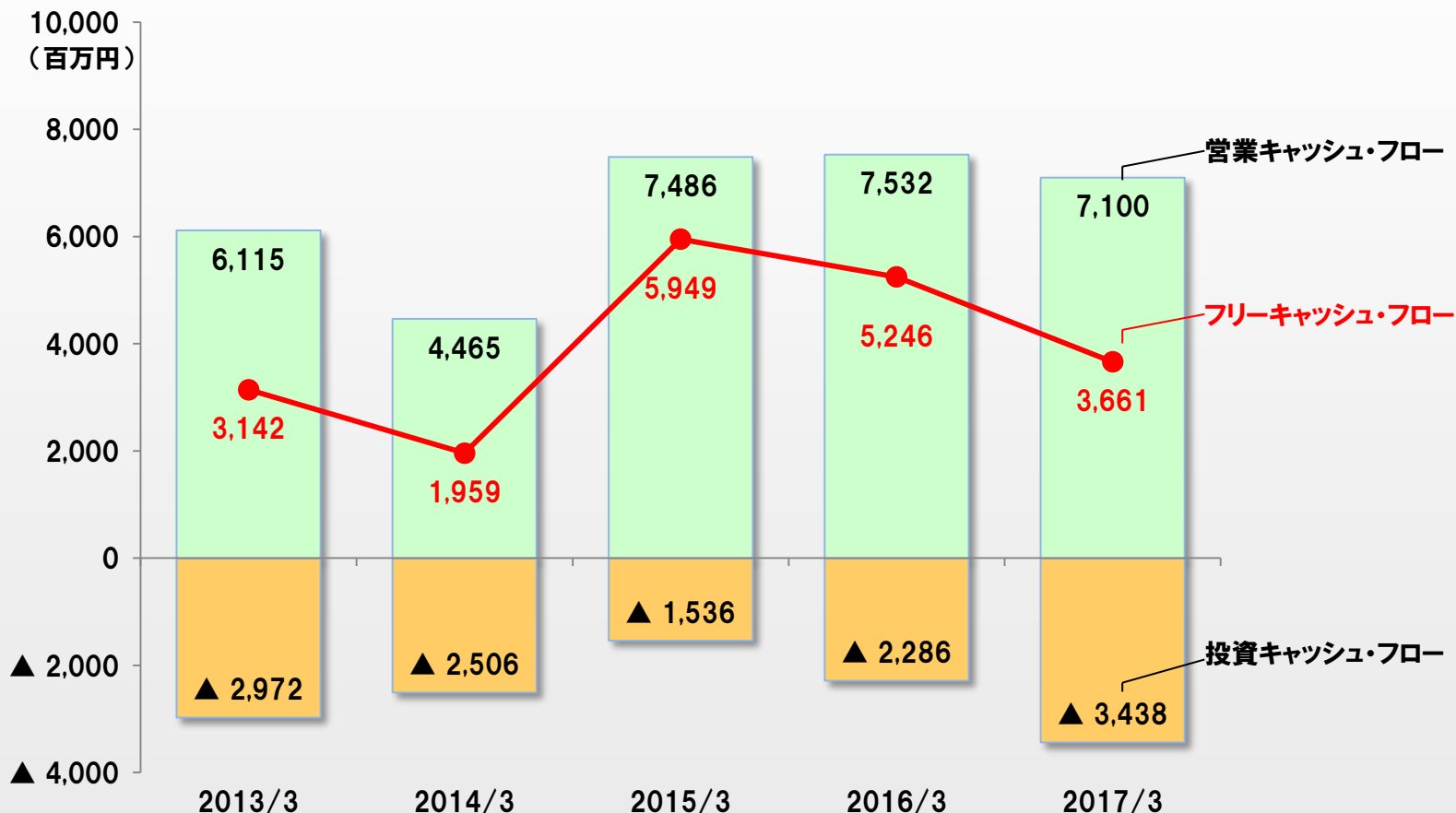
負債・純資産（連結）



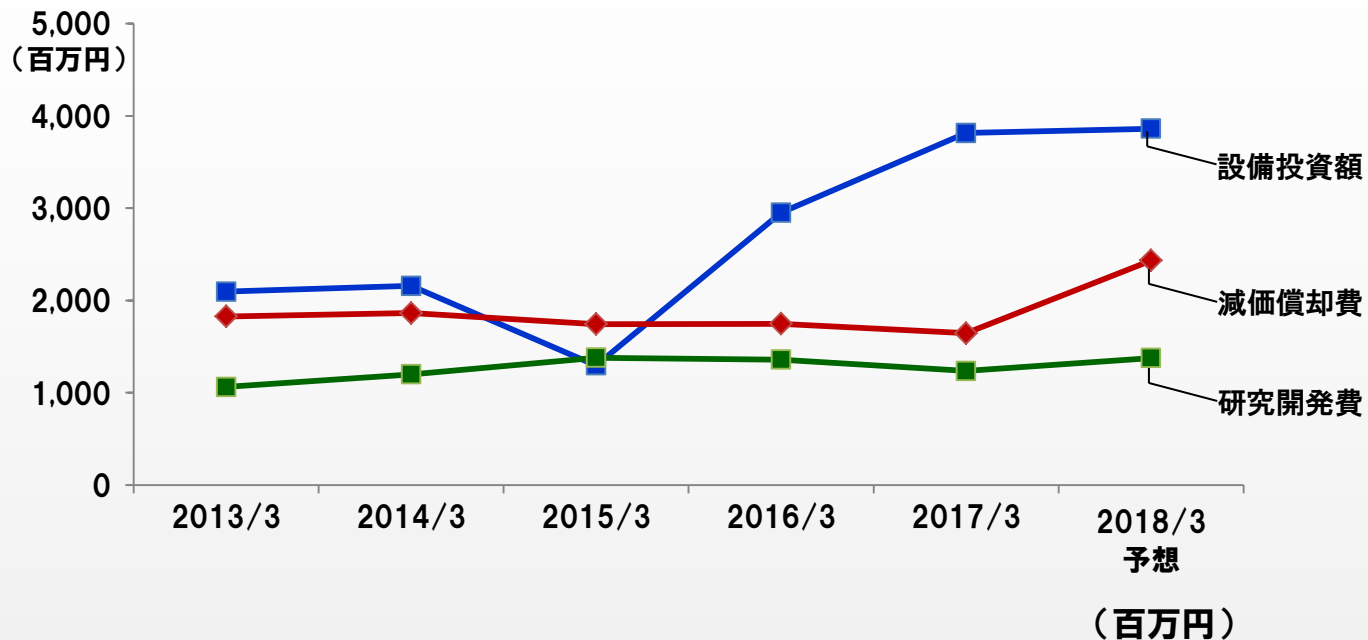
ROE(%)	8.0	9.1	9.0	9.2	10.1
有利子負債残高(百万円)	4,675	4,004	3,893	3,917	3,853
純有利子負債額(百万円)	▲ 5,366	▲ 6,728	▲ 12,050	▲ 16,158	▲ 18,963
自己資本比率(%)	64.5	68.1	69.3	70.0	72.9

キャッシュ・フロー概要（連結）

- ◆ 堅調な利益の計上により、営業キャッシュ・フローを順調に獲得。
- ◆ 不溶性硫黄生産設備等の設備投資が増加したが、現金及び現金同等物は、前期末比2,741百万円増加。



設備投資額、減価償却費、研究開発費（連結）



	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3	2018/3 予想
設備投資額	2,095	2,158	1,296	2,952	3,815	3,862
減価償却費	1,827	1,863	1,743	1,747	1,645	2,434
研究開発費	1,062	1,199	1,379	1,358	1,235	1,376

業績予想（連結）

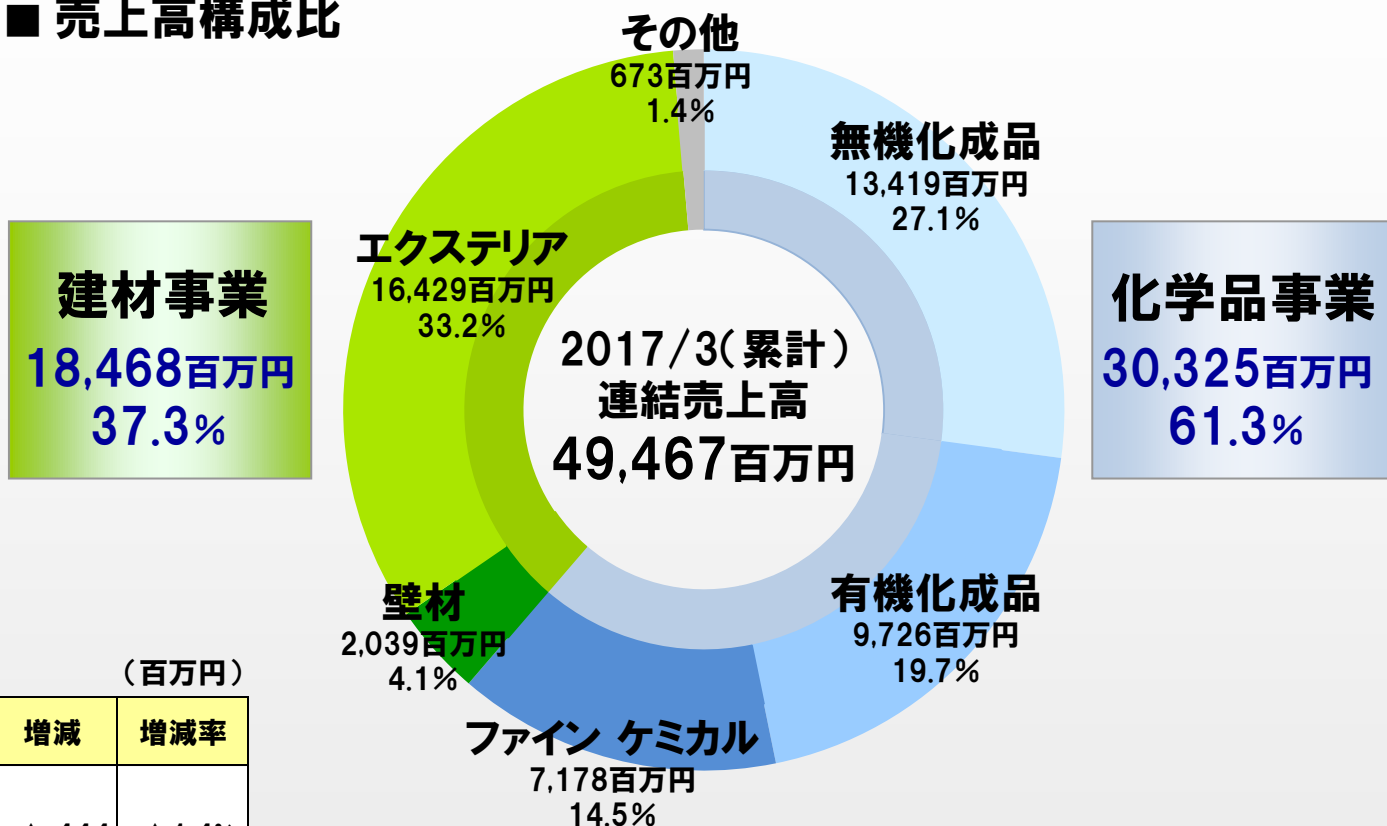
（百万円）

		2017/3	2018/3 （予想）	増減	増減率
売上高	上期	24,102	23,800	▲ 302	▲ 1.3%
	下期	25,364	25,700	335	1.3%
	通期	49,467	49,500	32	0.1%
営業利益	上期	3,393	3,100	▲ 293	▲ 8.7%
	下期	4,461	3,900	▲ 561	▲ 12.6%
	通期	7,855	7,000	▲ 855	▲ 10.9%
経常利益	上期	3,585	3,400	▲ 185	▲ 5.2%
	下期	4,709	4,000	▲ 709	▲ 15.1%
	通期	8,294	7,400	▲ 894	▲ 10.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	上期	2,411	2,300	▲ 111	▲ 4.6%
	下期	3,425	3,000	▲ 425	▲ 12.4%
	通期	5,837	5,300	▲ 537	▲ 9.2%

※ 想定為替レート:108円/米ドル、115円/ユーロ

セグメント別 売上高・利益

■ 売上高構成比

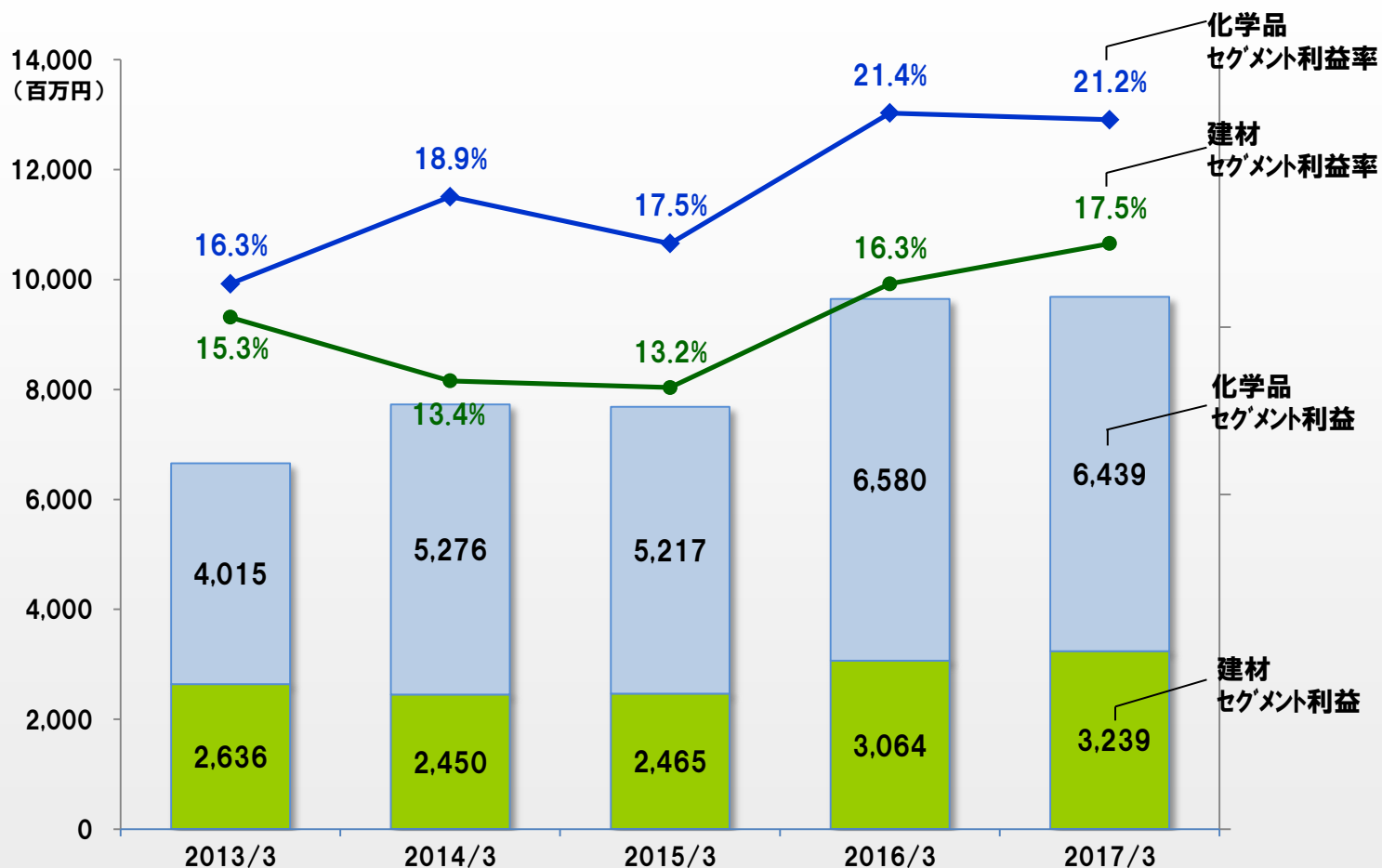


■ セグメント情報

(百万円)

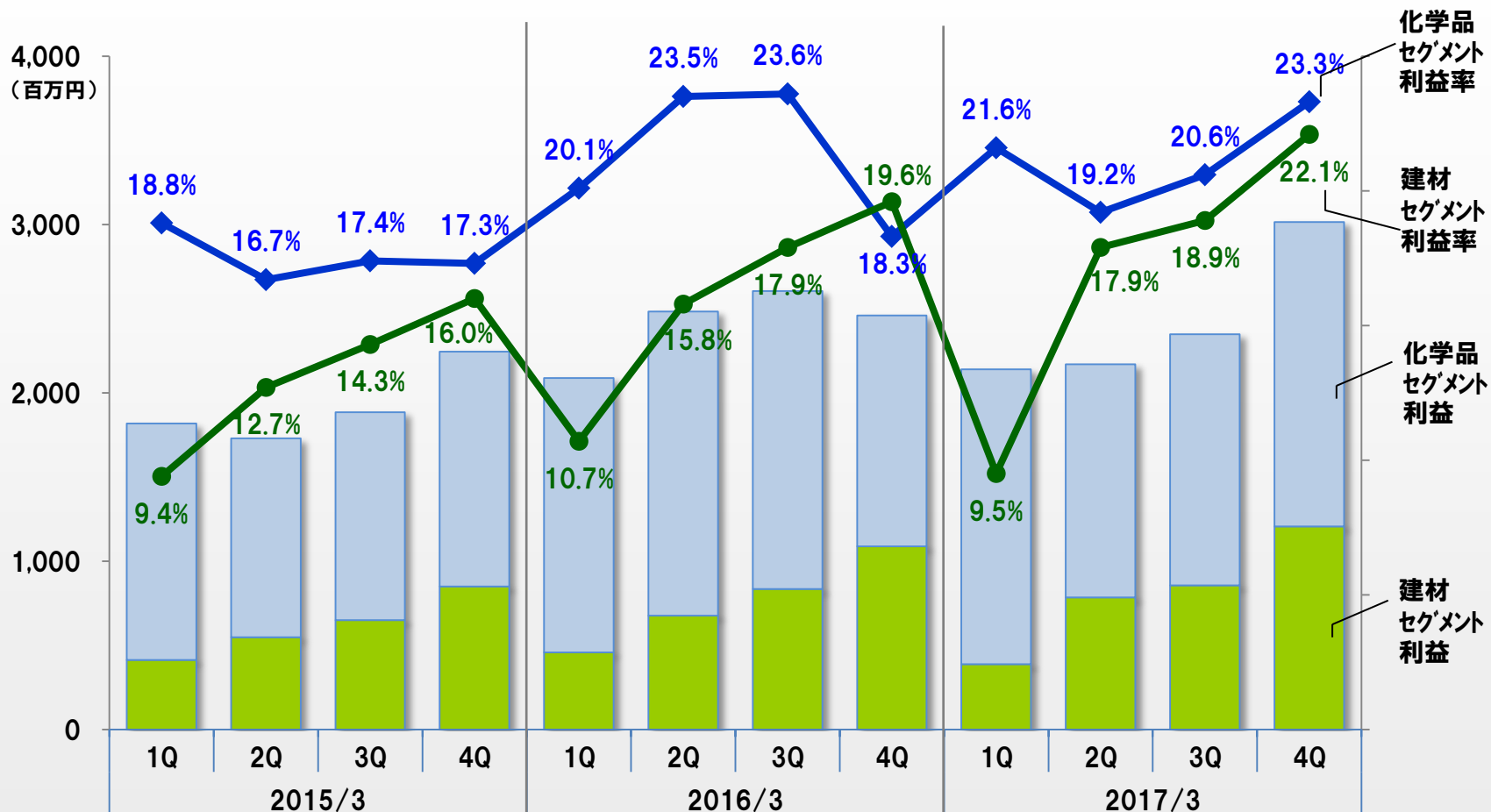
	2016/3	2017/3	増減	増減率
売上高				
化学品事業	30,769	30,325	▲ 444	▲1.4%
建材事業	18,792	18,468	▲ 323	▲1.7%
セグメント利益				
化学品事業	6,580	6,439	▲ 140	▲2.1%
建材事業	3,064	3,239	175	5.7%

セグメント別 利益推移 (連結・通期)



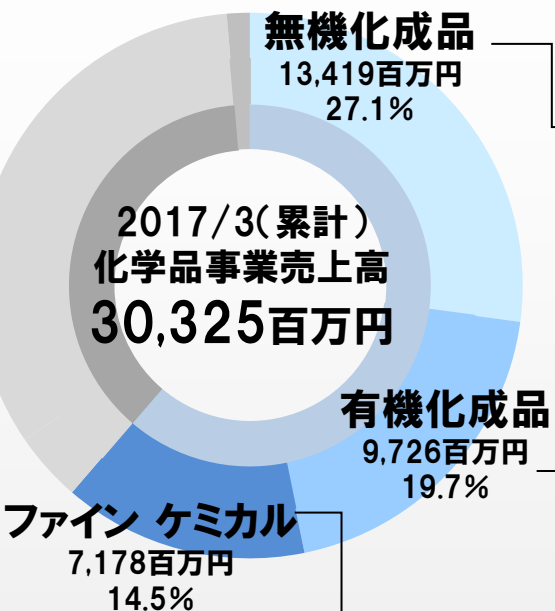
化学品売上高	24,570	27,932	29,752	30,769	30,325
建材売上高	17,186	18,257	18,647	18,792	18,468
化学品セグメント利益	4,015	5,276	5,217	6,580	6,439
建材セグメント利益	2,636	2,450	2,465	3,064	3,239

セグメント別 利益推移 (連結・四半期)



化学品売上高	7,470	7,086	7,112	8,084	8,091	7,673	7,519	7,485	8,107	7,221	7,235	7,761
建材売上高	4,407	4,339	4,559	5,340	4,279	4,298	4,657	5,556	4,086	4,376	4,532	5,474
化学品セグメント利益	1,404	1,181	1,236	1,395	1,630	1,806	1,771	1,371	1,752	1,385	1,492	1,808
建材セグメント利益	414	549	650	851	459	678	835	1,089	389	785	857	1,207

化学品事業セグメント



【主要製品・用途】

- 不溶性硫黄
ラジアルタイヤ用加硫剤
- 二硫化炭素
- 芒硝
- ソーダ灰



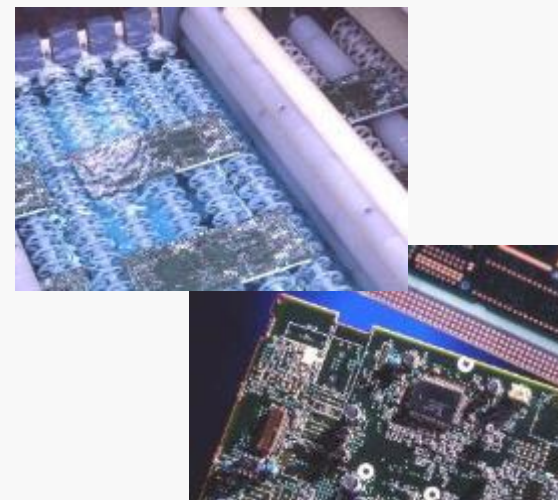
【主要製品・用途】

- シアヌル酸誘導品
プール・浄化槽用の殺菌・消毒剤
- ハイポルカ

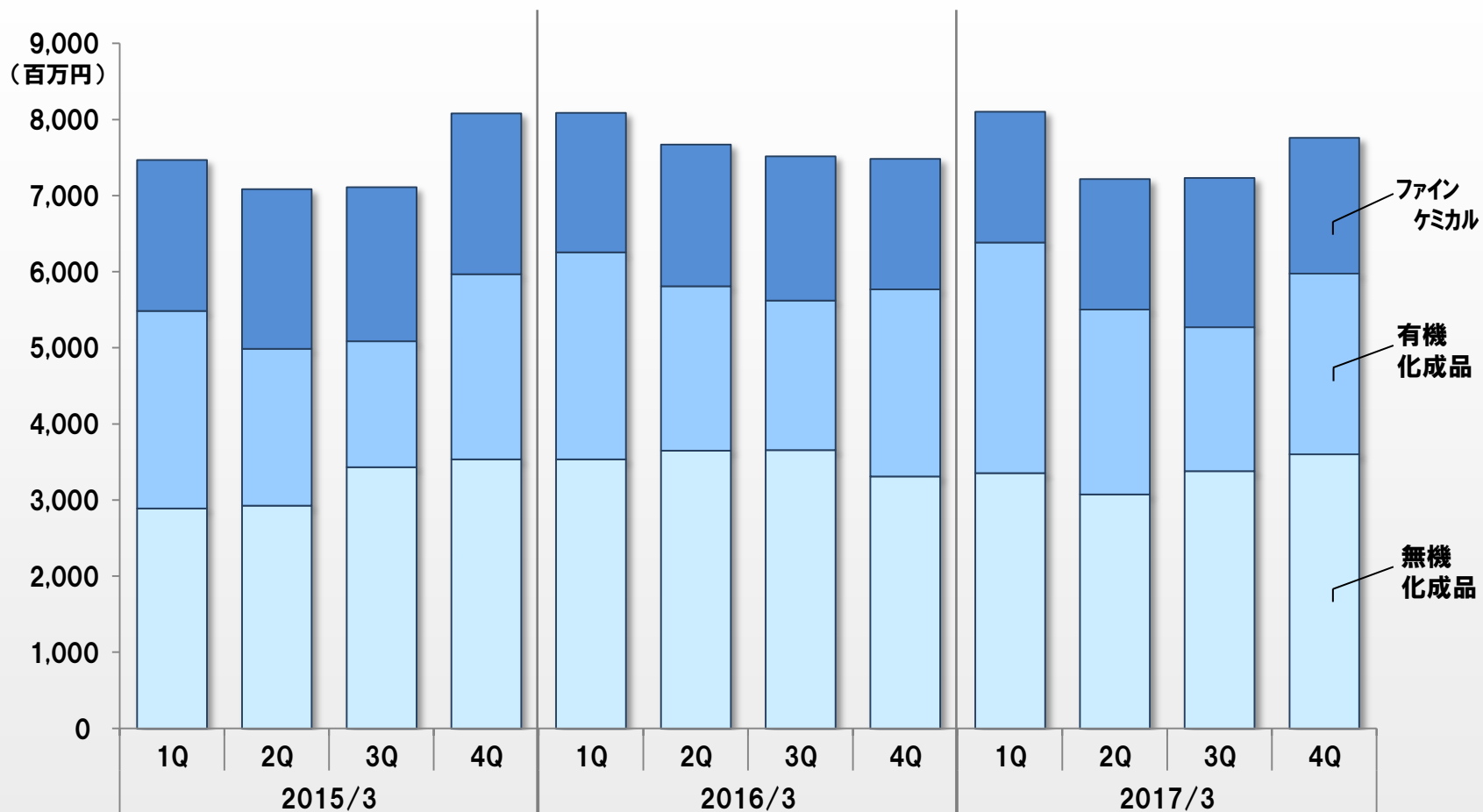


【主要製品・用途】

- タフエース
プリント配線板の防錆剤
- イミダゾール類
エポキシ樹脂の硬化剤
機能材料、医薬品原料
- セイク
- インク類



化学品 部門別売上高推移 (連結・四半期)



ファインケミカル	1,984	2,096	2,023	2,114	1,832	1,860	1,895	1,715	1,719	1,713	1,962	1,783
有機化学品	2,596	2,061	1,654	2,432	2,723	2,160	1,965	2,459	3,029	2,430	1,891	2,375
無機化学品	2,890	2,928	3,434	3,537	3,535	3,652	3,659	3,310	3,357	3,077	3,381	3,602

建材事業セグメント

【主要製品】

■ 住宅エクステリア

門扉・フェンス・カーポート・アコーディオン門扉

■ 景観エクステリア

大型門扉・大型フェンス・通路用シェルター
自転車置場・ゴミ集積庫・屋上緑化等

【主要製品】

■ 内装材・外装材・舗装材

エクステリア

16,429百万円
33.2%

2017/3(累計)
建材事業売上高
18,468百万円

壁材

2,039百万円
4.1%

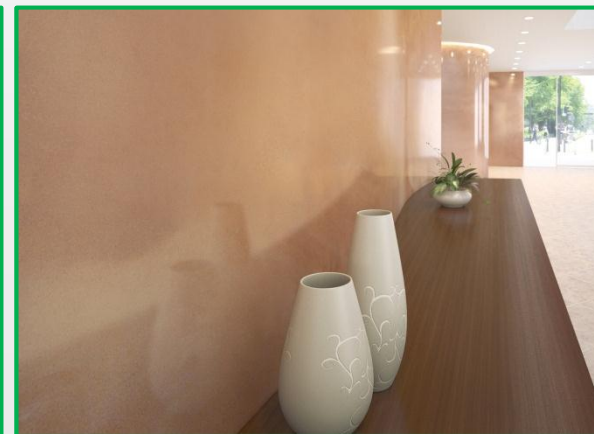
■ 2017年新商品



「エクサクルーフ」(オープンファサード)

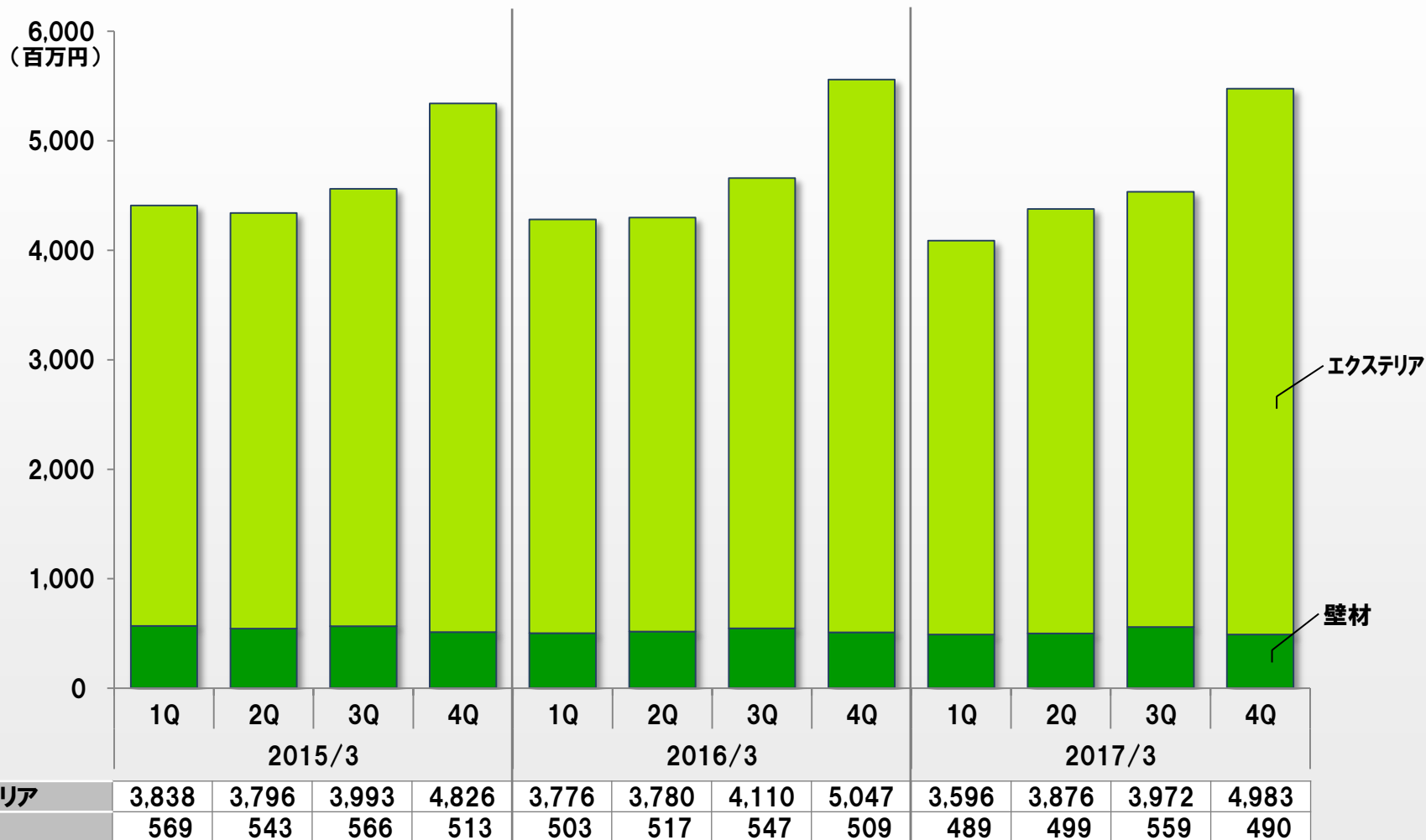


「マイポートOrigin」(カーポート)



「ルミデコール」(磨き壁)

建材 部門別売上高推移 (連結・四半期)



〔参考〕製品概要 ① 無機化成品

■ 不溶性硫黄

硫黄（化学式 S_8 ）を加熱、急冷し、 $(S_8)_n$ （ $n = 400 \sim 1,200$ ）となるように高分子量化した硫黄。不溶性硫黄はゴム分子を結合させる加硫剤として使われる高分子の硫黄で、現在タイヤの主流となっているラジアルタイヤの必須原料である。自動車用タイヤの製造過程では原料の混練り時に、ゴム分子を結合するために架橋剤を用いる。架橋剤には硫黄が使用されるため、一般には加硫剤と呼ばれる。この加硫工程を経ることで、ゴム本来の伸び縮みする性質（弾性）を持つようになる。

丸亀工場にて生産能力増強工事を実施。新興国をはじめとしたラジアルタイヤの需要増に対応し、生産能力を30%増強する。当初計画通り、2017年3月完成、同年10月より本格稼動予定。

■ 二硫化炭素

硫黄と炭素を高温で反応させて作る化学物質。化学式 CS_2 。主に化学繊維レーヨンやセロハンの製造工程で用いられるほか、ゴム薬や重金属固定剤、農薬の原料として使われる。

一昨年連結子会社化した二硫化炭素製造会社の日本硫炭工業は2016年3月期より通年で損益に寄与。



二硫化炭素（水没貯蔵）

〔参考〕製品概要 ① 無機化成品

■ 芒硝(ぼうしょう)

硫酸ナトリウムの別称。化学式 Na_2SO_4 で表される硫酸のナトリウム塩。

天然の温泉にも「芒硝泉」があるように、芒硝には温浴効果を高める働きがあることから、入浴剤の有効成分として使われる。また、粉末合成洗剤のビルダーや、染色助剤などにも使用される。乾燥硫酸ナトリウムなどと表示される場合もある。

2015年、ソーダ灰の本格販売を開始。

ソーダ灰はガラス原料のほか、合成洗剤や入浴剤の原料として使用されており、芒硝での販売ルートを活用する。



ソーダ灰

〔参考〕製品概要 ② 有機化成品

■ シアヌル酸誘導品(塩素化イソシアヌル酸)

各種工業薬剤の原料であるイソシアヌル酸を塩素と反応させて分離、乾燥させたもの。殺菌漂白効果に優れており、主にプールや浄化槽などの殺菌・消毒薬剤として使用されている。主力市場は家庭用プールが普及している北米。

1964年（昭和39年）に当社が独創的な製造技術により国内で初めて量産化に成功し、徳島工場（北島事業所）にて生産を開始した。その生産技術は、1971年（昭和46年）に生産工学上の優れた発明実績に対して与えられる大河内記念技術賞を受賞した。



プール用殺菌・消毒剤
「ネオクロール」

外洋を航海する船舶へバラスト水処理装置の設置を義務付ける国際条約が2017年9月に発効する。当社は、JFEエンジニアリング株式会社のバラスト水処理装置「JFEバラストエース®」向けに、塩素系顆粒薬剤「ネオクロール マリーン®」の販売を開始している。

〔参考〕製品概要 ③ ファイン ケミカル

■ プリント配線板向け水溶性防錆剤「タフエース®」

パソコンやスマートフォンなどの電子機器に搭載されるプリント配線板に電子部品をはんだ付けするまでの間、銅回路部分を酸化から守り、良好なはんだ付け性を維持するための表面処理剤。脱フロン、脱有機溶剤そして無鉛はんだ化への対応などの環境性能をいち早く採り入れ、この分野で世界トップシェア※1の地位にある。

※1 プリント配線板向け水溶性防錆剤において（当社調べ）



プリント配線板向け水溶性防錆剤
「タフエース®」

■ イミダゾール類

イミダゾールとは5員環上の1,3位に窒素原子を含む含窒素芳香複素環式化合物の一つ。化学式 $C_3H_4N_2$ イミダゾール化合物は、エポキシ樹脂の硬化剤、医農薬中間体、ウレタンの硬化触媒、銅の防錆剤、電解質などさまざまな工業分野に広く応用される。

当社は、イミダゾールで培った有機合成技術を強みとして、機能材料分野に進出。半導体等の先端分野において高付加価値材料の開発・拡販を進めている。



エポキシ樹脂硬化剤「キュアゾール®※2」

※2 キュアゾールはイミダゾール類における
当社商標

〔参考〕製品概要 ④ 壁材(JULUX)

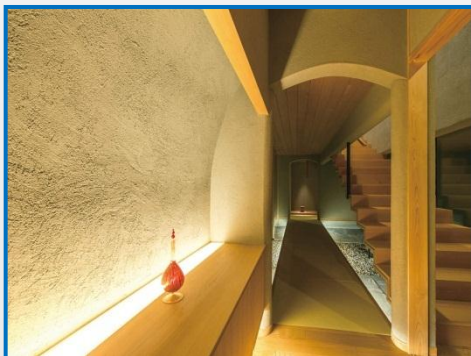
■ 壁材

当社の壁材は主に砂、色土、けいそう土などの天然素材を主原料とした塗り壁（左官材料）である。日本の伝統的な壁である聚楽壁は施工する現場ごとに左官職人が材料調合と施工を行っていたが、当社の壁材はあらかじめ造粒・配合された材料に所定量の水を入れて混ぜるだけで均一な品質が保てる。

住宅の内装材は近年、工事が早いビニルクロスなどが主流になっているが、塗り壁は人にやさしく、シックハウス症候群の原因となる物質や二オイを吸着する性能が高いことから、改めて注目されている。

JULUX（ジュラックス）は当社壁材製品の統一ブランドで、業界に広く浸透している。

<内装材>



けいそうジュラックス土壁

<外装材>



弾性パレットクリームHG

<舗装材>



リンクストーンF

〔参考〕製品概要 ⑤ エクステリア

■ エクステリア

エクステリアは一般にインテリア（内装）の対義語として用いられる。居住、生活する建物の外にある構造物全体をさす言葉で、門、車庫（カーポート）、フェンス、塀などが該当する。また、公共の外部空間で使われる資材製品なども含む。

1971年（昭和46年）、当社は伸縮機構で簡単に開閉でき、狭小な宅地事情に応えた「アコーディオン門扉」を考案、車庫前門扉のスタンダードとなった。その後、一般門扉、車庫（カーポート）、フェンス、また、デッキ材やテラスなどに商品ラインナップを強化していった。2012年（平成24年）にはアルミフレームと化粧材を組み合わせたアルミシステム塀「アートウォール®」を業界に先駆けて開発。高い意匠性ととも、特に倒壊など万が一の際の安全性で注目を集めている。

また、機能を重視しつつデザインにも注力しており、1984年（昭和59年）エクステリア業界初の「Gマーク」（現在のグッドデザイン賞）を獲得した。

当社では、一般住宅向けの門扉、カーポート、フェンス等を「住宅エクステリア」、公共施設、マンション等向けの大型門扉、フェンス、通路用シェルター等を「景観エクステリア」と分類している。

<住宅エクステリア>



アコーディオン門扉



車庫（カーポート）



アルミシステム塀
「アートウォール®」

<景観エクステリア>



通路用シェルター

〔参考〕中期経営計画2019 ① 目指す企業像

理念

独創性

私たちは
常に独創性を重んじ、
これを会社発展の原動力とする。

四国化成は「日本再建ノ鍵ハ化学ノ振興ニアリ」との「純粹ナル情熱」※1に燃える若者たちによって設立された。「当社ハ従来ノ製造方法ヲ改善シ、石炭加熱法ヲ改メ当社独特ノ考案ニ係ル特殊電気炉ノ装置ニヨリ生産費ノ低下ヲ図リ...」※2と謳われているように、二硫化炭素の製法革新を会社存立の端緒とし、爾来、研究開発や製造技術の独創性を基に数多くの製品を世に送り出してきた。

独創性を会社発展の原動力として邁進する発想と行動力は、我々も実践し、次代にも受け継がなければならない。

※1 会社設立趣意書 1947年 ※2 会社設立認可申請書 1947年

ビジョン

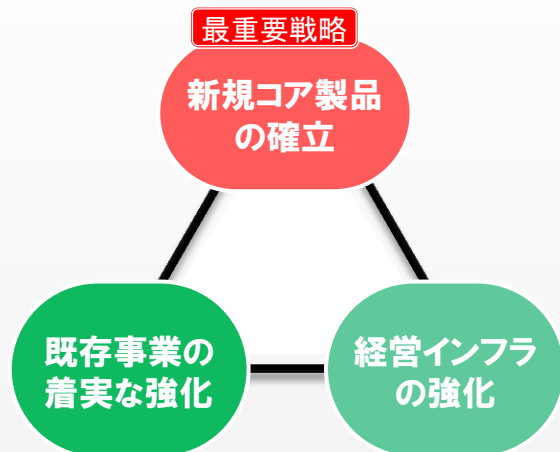
豊かで輝く企業、
小粒でも世界に通用する企業集団となる

経営基本方針

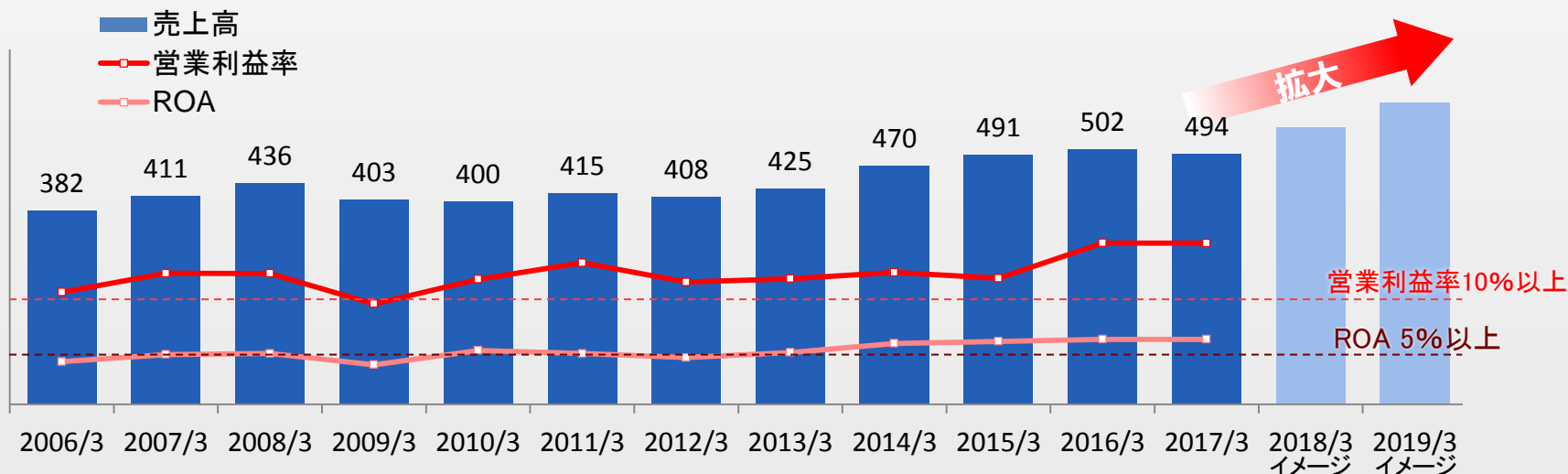
コア・コンピタンスに基軸を置いた事業運営
イノベーション重視の攻撃的なグローバル・ニッチ企業志向

〔参考〕中期経営計画2019 ② 全体像

真のグローバルニッチ企業として徒に大なるを求めず、強靱で筋肉質な企業になることを目指します。



- 1. 新規コア製品の確立を何よりも重視する**
将来の収益の柱となる製品を集中的に育て、企業価値を向上させる。
- 2. 基板である既存事業の着実な進化**
長期的な展望と緻密で実効性の高い戦略から事業の進化を図る。収益源となるまで時間のかかる新規事業の財務的な基盤とする。
- 3. 経営インフラの強化**
経営インフラを強化することで、事業戦略を支える推進力とする。



SSS

New SSS

SSS over the 500

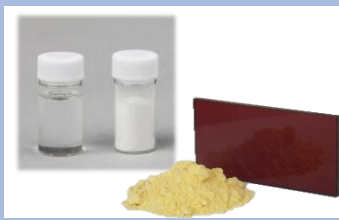
中期経営計画2019

〔参考〕中期経営計画2019 ③ 新規コア製品 取り組み状況

新規コア製品：将来的な収益源となる製品（群）。集中的に育成する製品として社内ルールに基づき明確に設定

機能材料製品群

高い有機合成力を活かして開発した新規物質で、最先端の電気・電子材料を高機能化

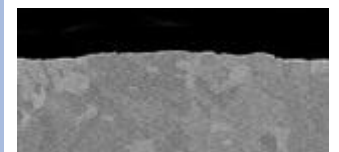


- 樹脂製品の高機能化に貢献するグリコールウリル誘導体など、先端領域における高付加価値材料等の開発を続けている。
- プロジェクトチームを組織し、スピーディな事業立ち上げへとつなげている。
- 顧客視点での物性評価力向上を目的とした物性評価棟がR&Dセンター敷地内に完成。

密着性向上プロセス

GliCAP®

銅表面を粗化することなく、化学的に銅と樹脂の密着性を向上させる



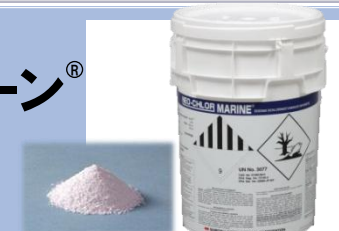
[GliCAP処理後] 銅と樹脂の断面図

- 顧客や周辺材料メーカーとの連携を強化し、本格採用に向けスピードアップを図っている。
- プリント配線板に限らず、銅と樹脂の密着性をキーワードに幅広い用途での可能性を探索している。

バラスト水処理装置向け薬剤

ネオクロール マリン®

バラスト水管理条約発効を見据えた薬剤
(JFEエンジニアリングと連携)

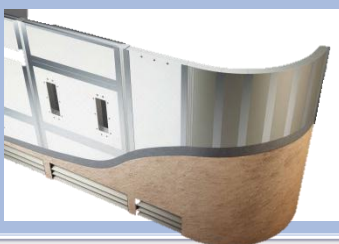


- JFEエンジニアリングの「バラストエース」の専用薬剤。
- 世界各地への薬剤配備が完了し、供給体制を整備。条約発効に備えている。
- 昨年9月にバラスト水管理条約の発効要件を満たし、2017年9月からバラスト水処理装置の搭載が義務化される。
- 装置の規格は更なる厳格化が進む。

アルミシステム塀

ArtWall®

安全性の高い軽量のアルミ構造体と化粧材を組み合わせた新たなコンセプトの外塀



- 安全性、施工性、意匠性に優れ、従来のコンクリートブロック塀に代わる商品として、新たな事業領域を開拓する。
- 顧客ニーズに基づいた改善・改良を絶え間なく実施。2017年は門柱タイプを充実。近年のオープンエクステリアの風潮に合致した製品シリーズを強化。
- 顧客への製品説明を重ねつつ、市場への浸透を進めている。

〔参考〕中期経営計画2019 ④ 既存事業 取り組み状況

不溶性硫黄生産設備の増強完了

- ▶ 新興国での自動車普及に伴い、ラジアルタイヤ市場は年率3～4%で成長を続けている。
- ▶ 当社は、ラジアルタイヤの必須原料である不溶性硫黄の世界シェア第2位であり、旺盛な需要に応えるべく生産能力を1.3倍に増強。
- ▶ 当初計画通り、2017年3月に完成。同年10月より本格稼動予定。



R&Dセンターに物性評価棟を新設

- ▶ 2016年10月、R&Dセンター敷地内に物性評価棟を建設。
- ▶ ユーザー目線での物性評価能力を向上させることで、新規顧客への拡販や既存顧客への迅速な対応を行う。
- ▶ 引き続き、評価機器の充実を進めていく。

お問い合わせ先**四国化成工業株式会社 経営企画室****TEL:0877-21-4119****FAX:0877-22-4119****www.shikoku.co.jp****【本資料に関する注意事項】**

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現在入手している情報や予測に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

また、本資料は投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり売買の勧誘を目的としたものではありません。当社では投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。